６月１日からウルグアイのホテルコンラッドでラムサール条約締約国会議があって、参加しています。

今回、有明海の「鹿島新籠」、「佐賀市の東よか」など日本から４か所が追加登録され、日本の登録湿地は合わせて５０となりました。

政府、自治体や国内環境NGOが来ています。自由に会議に参加できるのですが、英語とスペイン語の世界はハードルが高い。

サイドイベントのNGOの集会で諫早の実態を訴えましたが、政府自治体との関係がうまくいっている地域もあり、問題の本質を理解してもらうのは難しいようです。

昨夜、環境省、外務省、佐賀市、鹿島市などと日本のNGOのメンバーなどで交流会がありました。佐賀市長、副議長、鹿島市の条約登録室長と「開門」と「有明のラムサール登録」で意気投合しました。